

令和7年度事業計画

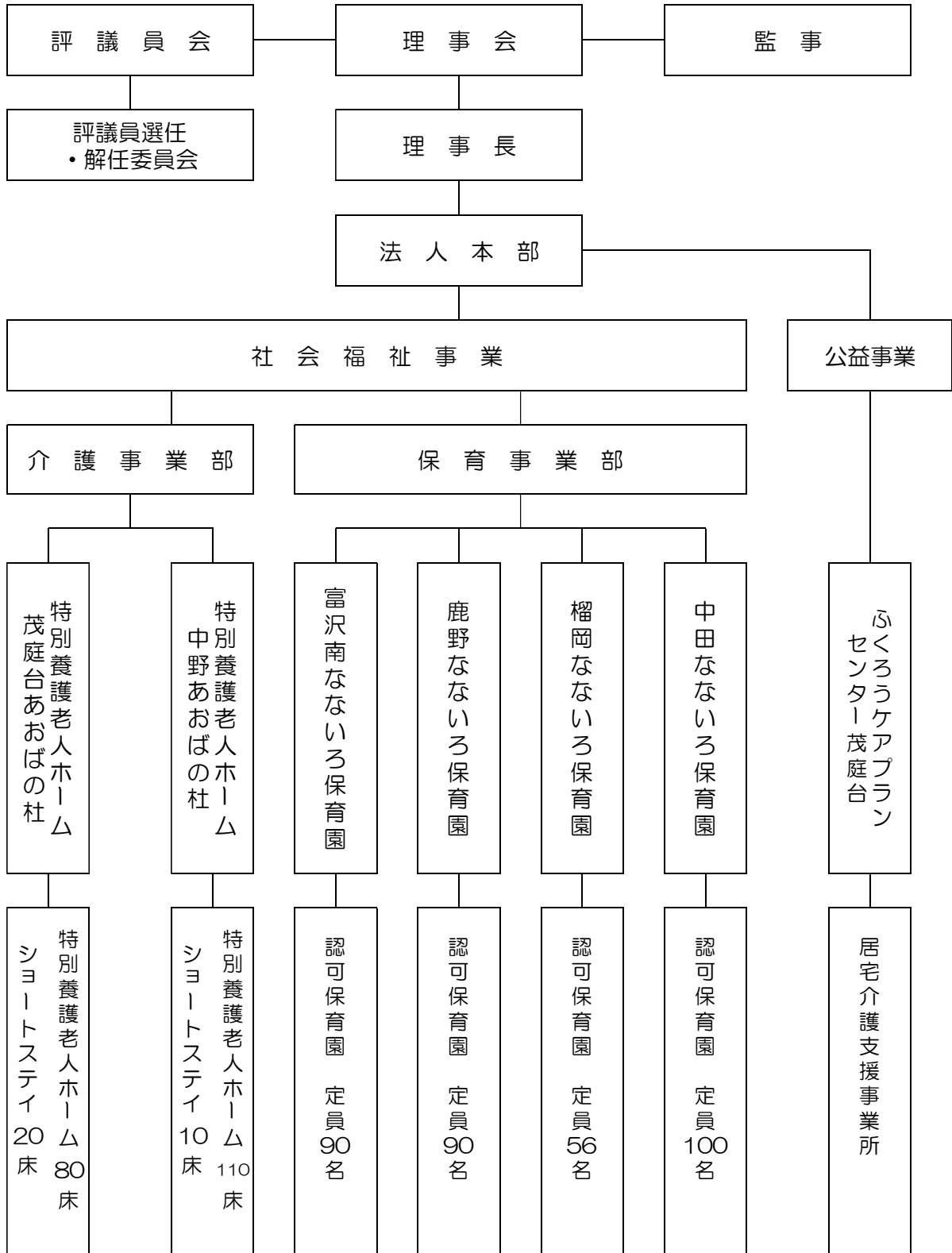


社会福祉法人
あおば厚生福祉会
Aoba Welfare

目次

I. 法人組織図	・・・・・・・・・・	P1
II. 介護事業部年間計画	・・・・・・・・・・	P2
III. 保育事業部年間計画	・・・・・・・・・・	P21
i. 富沢南なないろ保育園	・・・・・・・・	P24
ii. 鹿野なないろ保育園	・・・・・・・・	P30
iii. 榴岡なないろ保育園	・・・・・・・・	P35
iv. 中田なないろ保育園	・・・・・・・・	P40

I. 法人組織図



Ⅱ. 介護事業部年間計画

あおば厚生福祉会 介護事業部

職員行動理念

まずは、尊敬・配慮
つぎは、意識・考察
最後は、思いの実現

尊敬・配慮で利用者様が安らぎ
意識・考察で利用者様が健康に
思いの実現で利用者様が笑顔に

- 一. 利用者様は、常に尊敬の念を持ち「敬称」をつけて呼びましょう。
- 一. どんなに忙しくても、利用者様へ「雑」な行動・言動は慎みましょう。
- 一. 利用者様のプライバシーの保護に配慮しましょう。
- 一. 利用者様を常に「見る」ことを意識し、身体的・精神的変化を迅速に察知しましょう。
- 一. 命を預かっている意識を高く持ち、利用者様に関する様々なリスクを未然に防ぐ努力をしましょう。
- 一. 起こってしまったアクシデントは、皆で原因・再発防止についてしっかり考えましょう。
- 一. 利用者様を深く知るため、ご本人やご家族等と積極的に関わりましょう。
- 一. どのような身体状況であっても、利用者様の思いや望みを引き出し、実現できるよう考えましょう。
- 一. 利用者様の残存能力を見極め、できることは行ってもらうようにしましょう。
- 一. どんなに小さなことでも1日1回、何が喜んでもらえるかを考えましょう。

○職員行動理念を実践できるよう、細分化した目標を掲げ取り組みを行います。

また、評価と振り返りを行い、介護サービスの質の向上に努めて参ります。

1. 各課別年間予定

介 護 課

【目標】

一人一人の要介護の心身の状況を踏まえて、利用者様の有する能力に応じ可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう配慮し支援を行います。また、利用者様の身体状況の把握や、より良い生活支援のために多職種との連携を図り、安心・安全なサービス提供に努める事を目標とします。

「笑顔」を大切にしながらケアを提供し、利用者様一人一人が本人らしい生活を送ることができ、安楽な最期を迎えられるよう、生活歴やご家族のニーズの把握に努めます。職員の専門性・質の向上に努め、常に細やかな配慮の意識、チームワークケアの強化を図ることを目標とします。

《茂庭台あおばの杜》

【概要】

- 1 質の高いサービスを提供するためには、知識や介護技術の向上だけでなく、接遇・コミュニケーション能力の向上が必要と考える。利用者様一人ひとりと向き合い、笑顔を忘れず寄り添える介護を目指す。
- 2 新人職員や中途職員それぞれのレベルに合わせて助言・指導の統一化を図り、外部研修を通して意識向上・スキルアップを目指す。
- 3 法人介護施設との連携を強化し、情報共有や協力体制の構築、利用者様に対するより良いケアへの反映を目指す。
- 4 日々の業務の中で気づきや疑問等カンファレンスを通し、必要に応じ改善策を考え、利用者様が安心した生活が送れる環境を目指す。

【感染災害についての取り組み】

新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染対策の徹底や委員会活動の強化・勉強会を行う。感染状況や情報を多職種との連携を図りながら、感染拡大の防止に努める。また、BCPに沿った訓練の実践・マニュアルの見直しをおこなう。

【生活の質向上への取り組み】

施設サービスの基本となるサービス計画書に基づいたケアの実施は、利用者様にとって必要な介護支援が適切に受けられるとともに、利用者様ひとりひとりの個別援助計画の作成、実施を行っていく。日常的、社会的役割を持つ施設づくりを念頭に置き、

関係職種との連携を図る。また、サービスの質の向上に向け、研修や勉強会を取り入れ介護技術向上に努める。

【事故防止対策への取り組み】

利用者様が安心して生活を送って頂けるよう日頃の状態把握と身体の変化を見逃さず、介護職員は常に「見る」を意識し日頃から事故防止に努める。また、ヒヤリハットの分析を行い、事故発生時には報告、連絡、相談が速やかにできるよう意識づけを徹底し、事故防止対策を多職種と連携しミーティングや会議を行い迅速に対応するよう努める。

【認知症ケアの向上取り組み】

- 1 認知症高齢者の生活に対応すべく、馴染みある関係性や住環境について整備を実施し、本人らしい生活を継続できるよう努める。
- 2 認知症ケアに関する知識を高める為、認知症の種類や症状及び基本的な対応方法について勉強会を実施する。
- 3 認知症ケアの専門性を高める為、症状に合わせた対応やより個別化したケアの方法等について外部研修の参加を増やしスキル向上を目指す。

【職場研修の取り組み】

利用者様に対する施設サービスの質の向上と健全な運営を行う為、施設全体での取り組みとして年間研修を設定し、その内容や講師については施設内持ち回りで実施していく。また、内容により外部研修講師を招き専門的な技術の習得や知識の向上が図れるよう研修が充実した内容となるように努める。

《中野あおばの杜》

【概要】

- 1 業務改善の提案を行い、改善策に向けた取り組みを行うことでケアの質の向上に向けた取り組みを行い、他職種連携の体制づくりを構築する。
- 2 外部・内部研修を通し、介護知識、技術の向上を図り利用者様に安心・安全なケアが提供できる事を目指す。
- 3 新人職員や中途職員への研修マニュアル作成、統一した指導方法を確立しそれぞれのレベルに合わせた助言・指導を行い質の高い職員育成を目指す。
- 4 法人介護施設との連携を強化し、情報共有や協力体制の構築、利用者様に対するより良いケアへの反映を目指す。

【理念への取り組み】

利用者様に安心して生活をして頂ける環境整備を行い、法人目標である「尊敬、配慮、意識、考察、思いの実現で利用者様を笑顔に」を職員一丸となり実践する。質の高いサービス提供をするためには、職員一人一人が知識・介護技術・接遇・コミュニケーション能力の向上が必要と考える。利用者様一人ひとりと向き合い、笑顔を忘れず寄り添える介護に努める。

【感染災害についての取り組み】

新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染対策の徹底や委員会活動の強化・情報収集・研修を行う。感染拡大を防止するための基本、感染防止対策等の研修を行い施設職員の知識の向上、感染に対しての意識の向上を図る。また、感染状況や情報をもとに感染拡大防止に努め、適宜マニュアルの見直しを行い、多職種との連携を図り、BCPに沿った訓練を実践する。

【生活の質向上への取り組み】

施設サービスの基本となるサービス計画書に基づいたケアの実施は、利用者様にとって必要な介護支援が適切に受けられる事に繋がる。日常的社会的役割を持って頂ける施設づくりを念頭に置き、利用者様一人ひとりの個別援助計画の作成、実施を行い関係職種と連携しサービスの質向上を図る。他職種とのカンファレンス等を通じて利用者様に適切な生活支援を行えるように努める。また、研修や勉強会を取り入れ知識、介護技術向上に努める。

【事故防止対策への取り組み】

利用者様が安心して生活を送って頂けるよう、日頃の状態把握と身体の変化を見逃さず、介護職員は常に「見る」を意識し日頃からヒヤリハットの分析を行い、事故防止に努める。状態変化時は他職種と連携し、状態変化に合わせた対応を速やかに行う。事故発生時には、報告・連絡・相談を速やかに行い、事故防止対策を他職種と連携しミーティングや会議を実施、再発防止に努める。

【認知症ケアの向上取り組み】

- 1 認知症高齢者の生活に対応すべく、環境整備を実施する。
- 2 認知症ケアに関する知識を高める為、認知症の勉強会を実施する。
- 3 認知症ケアの専門性を高める為、外部研修の参加を増やしスキル向上を図る。

【家族交流・情報共有の取り組み】

ご家族面会時に職員から日々の生活の状況や様子を伝えコミュニケーションを図り、信頼関係の構築を図っていく。また、感染状況の面会制限時や面会に来られないご家族に安心して頂けるよう日々の様子をユニット職員から毎月の手紙にて様子を伝えていく。

【職場内研修の取り組み】

利用者様に対する施設サービスの質の向上と健全な運営を行う為、施設全体での取り組みとして、研修内容を設定、その内容や講師については、施設内持ち回りで、職員が実施する。研修内容の中には外部研修で学んだことを伝達する伝達研修も行い、外部で学んだことを施設内にて共有することで施設全体で技術、知識の向上が図れるよう研修内容等が充実するよう努める。

年 間 研 修 予 定		
時期	研修名	内 容
4月	・感染対策委員会	・感染対策の目的、手洗いの実践
5月	・褥瘡予防委員会 ・排泄委員会	・ポジショニングについて学ぶ ・正しいマットの選び方
6月	・事故防止委員会	・リスクマネジメント
7月	・身体拘束委員会 ・虐待防止委員会	・身体拘束防止の定義 ・虐待防止に向けての取り組み
8月	・感染対策委員会	・感染発生を想定した訓練（標準予防策の実践）
9月	・認知症ケア①	・認知症ケアの基本
10月	・看取り委員会	・看取り介護とは
11月	・排泄委員会	・おむつの正しい選び方
12月	・事故防止委員会	・事故防止と再発防止の考え方を研鑽する
1月	・認知症ケア②	・事例検討（事例を通して学ぶ）
2月	・褥瘡予防委員会	・褥瘡評価（事例を通して学んだ事）
3月	・身体拘束委員会 ・虐待防止委員会	・虐待に繋がる言葉使い ・介護施設におけるグレーゾーン
<ul style="list-style-type: none"> ・研修開催日：毎月第1金曜日 ・開催時間：18時～18時30分 		

※災害BCP訓練・消防訓練については各事業所で日程調整し実施する。

看護課

【目標】

看護課は、2025年問題である高齢社会に伴う医療の変化に、看護師が24時間常勤している特性を生かすことで、利用者様の医療ニーズに合わせた医療ケアを提供し、安心して日常生活を営むことが出来るように援助します。

- 1 利用者様の健康状態の把握と管理を行い、施設で担う医療ケアにおいて嘱託医と連携を図っていく。
- 2 看取り期の取り組みでは尊厳を尊重し安楽を基本とした生活の質の維持に努める
- 3 業務の統一化、周知の徹底を図り、医療事故防止に努める。
- 4 感染BCPに基づき感染対策訓練・研修、指導を行い感染予防に努める。
- 5 施設看護師としての役割を理解し、看護知識の向上にも努める。

《茂庭台あおばの杜》

【概要】

1 健康管理

- (1) 嘱託医・精神科医と連携し、疾病に対する早期発見に向け、嘱託医の指導のもと定期検査や通院介助を行う。
- (2) 協力医療機関や近隣医療機関等との連携を図り、疾患に対する早期治療に繋げる。
- (3) 感染予防に対し予防接種を実施する。
- (4) 利用者様の身体機能維持に向け各部署での情報共有に努める。
- (5) 各委員会への参加をはじめとし、産業医の指導の下感染対策と環境整備を行う。

2 医療処置

- (1) 薬品・内服薬の管理、配薬確認→ダブルチェックの厳守
- (2) 経管栄養、胆のうドレーンカテーテル、膀胱留置カテーテル、血糖測定、インスリン注射、点滴注射
- (3) 皮膚状態の観察、褥瘡への予防と対策

3 年間計画

- (1) 利用者様の健康診断実施（年1回、1月～2月に実施予定）
- (2) 各種ワクチン接種実施（インフルエンザ・新型コロナウイルス・肺炎球菌）
- (3) 定期血液検査（4～5月・10～11月）

《中野あおばの杜》

【概要】

1 健康管理

- (1) 嘱託医と連携し、疾病・症状に対し内服指導や検査・通院介助を行い、悪化防止に努める。
- (2) 協力医療機関との連携を図り、円滑に医療が提供できる様に努める。
- (3) 予防接種を実施し、感染予防に努める。
- (4) 各委員会・研修を通し、業務の効率化、医療事故防止に努める。
- (5) 産業医の指導の下、職員が安心した職場環境を整える。

2 医療処置

- (1) 薬品・内服薬の管理
- (2) 尿道留置カテーテル、経鼻栄養チューブ、胃瘻、在宅酸素、シャント管理
- (3) 経管栄養、血糖測定、インスリン注射、点滴等の実施と管理
- (4) 外部医療機関との連携及び受診、病状の経過観察

3 年間計画

- (1) 利用者様の健康診断実施（年1回、1月～2月に実施予定）
- (2) 各種ワクチン接種実施

機 能 訓 練 課

【目標】

利用者様が充実して過ごしていただけるように、適宜日常生活動作能力や精神状態の把握を行い、必要に応じた機能訓練を実施し身体機能の維持・向上を心掛けていきます。また、日々の機能訓練の実施に向けて、介護職員や利用者様がわかりやすい運動を提供し、利用者様が楽しみを持って生活できるように集団体操やレクリエーションを通して心身機能の維持を図ります。

《茂庭台あおばの杜》

【概要】

- 1 利用者様の身体状況や希望に応じ個別機能計画、利用者様の活動性や自発性の意欲向上に努める。
- 2 効果的な機能訓練を提供できるよう、外部研修や講習会に参加し自己研鑽に努める。多職種間でも研修内容の情報共有が行えるよう、伝達研修を開催する。
- 3 利用者様が安全に日常生活を送れるように、車椅子・杖などの福祉用具の選定を行い、適切な使用方法の指導を行う。
- 4 利用者様にレクリエーションを取り入れた機能訓練を実施し、体を動かす事の楽しみを持ってもらう。
- 5 短期入所の利用者様に対して、生活背景を見据えた訓練提供を行い、安全に生活ができるよう訓練提供を行う。

【年間計画】

- 1 地域交流スペース内にて合同レクリエーションの実施（月2回）
- 2 ユニット毎での集団体操（毎日）
- 3 利用者様のアセスメント（身体測定、課題分析）実施（3ヶ月更新）
- 4 機能訓練計画書作成・評価・見直し（体調変化時随時、3ヶ月更新）
- 5 機能訓練機器利用時の介助、指導
- 6 介助具メンテナンス・施設福祉用具の使用状況確認・管理（1ヶ月更新）

《中野あおばの杜》

【概要】

- 1 利用者様の身体状況や目標に応じた個別計画を作成し、利用者様の活動性や自発性の意欲向上を促す。
- 2 多職種間で利用者様の情報共有を密に行い、身体機能に応じて迅速に対処する。
- 3 効果的な機能訓練を提供できるよう、外部研修や講習会に参加し自己研鑽に努める。多職種間でも研修内容の情報共有が行えるよう内部研修を開催する。
- 4 利用者様が安全に日常生活を送れるように、車椅子・杖・自助具などの福祉用具の選定、適切な使用方法の指導を行う。
- 5 利用者様に体を動かす事の楽しみを持って頂けるよう、レクリエーションを取り入れた機能訓練を実施する。

【年間計画】

- 1 企画・レクリエーションの実施、集団体操等の運動機会の提供（月2回）
- 2 個別リハビリテーションの実施（毎日）
- 3 利用者様のアセスメント（身体機能の把握、課題分析）実施（3ヶ月更新）
- 4 機能訓練計画書や生活リハビリテーションの作成・評価・見直し
（体調変化時随時、3ヶ月更新）
- 5 福祉用具利用時の介助方法の指導・見直し・再検討の実施（毎週）
- 6 福祉用具や自助具メンテナンス・施設福祉用具の使用状況確認・管理
（1ヶ月更新）

栄 養 課

【目標】

ユニットケアの食事支援として、家庭での生活が施設でも実現できるよう工夫を行い、その中でも食事内容や嗜好品等は、ご本人様の意向を尊重し個々に寄り添った支援を目指します。利用者様の栄養管理については食事量の摂取量や体重の変動、疾病、ADL 等を理解した上で安心したお食事が提供でき、心身共に満足して頂ける食事提供を行います。また、ノロウイルス等の食中毒やインフルエンザ、新型コロナウイルスが流行する中で、多職種との連携や指導を行い、蔓延防止に努めます。

《茂庭台あおばの杜》

【概要】

- 1 毎月 1 回の行事食・ご当地メニュー・季節に合わせた献立の提供
- 2 食数・食事箋・食札・非常食管理
- 3 定期カンファレンスの参加と利用者様の生活歴や食歴の確認
- 4 栄養ケアマネジメントの実施・栄養計画書の作成
- 5 給食委員会と連携し利用者様の嗜好の把握
- 6 ユニットキッチンの衛生管理と厨房業務の把握
- 7 定期的なミールラウンドの実施と状況の把握

《中野あおばの杜》

【概要】

- 1 毎月 1 回の行事食 2 ヶ月 1 回のユニットのリクエストメニューと郷土料理の提供
- 2 季節に合わせた献立の作成とおやつ提供、選択食の実現
- 3 食を通じた園児との交流機会を企画
- 4 療養食、回復食など体調や疾病に応じた食事の提供
- 5 カンファレンスの参加と利用者様の生活歴や食歴の把握
- 6 栄養ケアマネジメントの実施・栄養ケア計画書の作成・LIFE への反映
- 7 定期的なミールラウンドの実施と状況の把握
- 8 給食委員会で、嗜好の把握及びメニューの提案、嚥下、口腔ケアの状況把握
- 9 BCP に対し、食事を提供する際のシミュレーション確認及び非常食の管理

総合相談課

【目標】

多様化するニーズへの対応や、医療行為が必要な施設利用希望者に対して柔軟かつ迅速にサービス提供が行えるよう関係機関と連携し取り組みを行います。貧困や身寄りがなくサービス利用を困難に感じている方に対して、社会福祉制度の紹介を行い、適切に支援を受けられるようサポートします。また、利用者様・ご家族・地域・施設の架け橋の構築と社会参加支援を行い、地域での生活が生きがいや充実感を感じながら安心して営めるよう取り組んでいきます。

施設サービス計画については本人やご家族の希望するニーズや必要なケア内容だけではなく、ICTの活用や地域交流についても盛り込んだ内容で作成します。

施設サービスについては自己・外部の評価機関を活用し、評価から見える新たな課題に向け取り組み、より質の高いサービスを目指します。その他、様々な事業所・関係者・地域と信頼関係を構築し、安定した入居率・稼働率の維持を図ります。

《茂庭台あおばの杜》

【概要】

- 1 医療機関、地域包括支援センター、居宅支援事業所への定期的な営業活動（空室状況の情報提供等）を行い、空床期間が空かないよう新規入所者獲得の為、面談や実調等迅速な対応を行う。
- 2 介護老人保健施設、小規模・看護多機能施設等への定期的な営業活動（空室状況の情報提供）を実施し、当施設で新規入所者の受入れが難しい場合に、一時的に受入れしていただくような他施設との新たな連携を構築する。
- 3 利用者様及びご家族のニーズを面談等により把握し、各部署と連携及び情報共有を行い、できるだけニーズに応えられるよう努める。
- 4 利用者様・ご家族・地域・施設が交流できるよう、地域活動への参加だけでなく、家族会の開催やご家族との交流会を実施し開かれた施設となるよう取り組むと共に、出張販売やボランティア等の社会資源を積極的に活用し、利用者様・ご家族・地域が楽しめる環境を構築する。
- 5 ご家族に安心して頂けるよう、また他の関係機関との連携がスムーズに図れるよう施設内での情報共有に努める。
- 6 利用者様が体調不良や疾病、事故等による入院をした場合は、第一に利用者様が治療して退院、再入所できるように病院と連携を行う。入院状況が重篤又は再入所が

困難な場合には、病院やご家族と情報共有や相談を行い、必要により契約の終了を検討する。契約終了後、利用者様の体調が回復した場合は、最大限に再入所できるよう取り計らう。

- 7 各ユニットのラウンドを行い、利用者様本人の意向確認や、職員からの情報収集を行い、個別計画の立案を行う。また計画作成については、それぞれの専門職が協力し情報共有を行い、連携を図りながら支援を行なっていけるよう努める。
- 8 施設内での認定調査実施にあたり、適切な要介護度の評価を行う。
- 9 施設サービスについて自己評価や外部評価を活用し、より質の高いサービス提供が実施できるよう取り組みます。また、施設の満足度調査を実施し利用者様、ご家族の満足度の向上に努める。
- 10 感染症対応について、感染症発生時は臨機応変に入退所の調整を行う。また、利用者様やご家族が安心して利用できるよう適切な状況説明を実施する。感染対策として、外出時にはマスク着用等、利用者様やご家族へご理解とご協力を頂けるよう努める。

総合相談課年間予定			
月	目標稼働率	相談課活動内容	その他の活動内容
4月	長期 95% 短期 85%	訪問/FAX 営業（毎月） GW に向けショート調整	加算内容の見直し 料金表の見直し
5月	長期 95% 短期 85%	GW 中のショート調整	ボランティア団体との調整
6月	長期 95% 短期 85%	夏季に向けた入所調整	減免証等の更新のお知らせ
7月	長期 95% 短期 85%	病院への利用案内営業 緊急ショートの対応	地域や近隣施設の夏祭り参加 施設夏祭り 家族会の開催
8月	長期 95% 短期 85%	夏季緊急ショート時の対応 お中元の挨拶	保険証、減免証の確認
9月	長期 95% 短期 85%	緊急ショートの振り返り	外部評価受入予定 インフルエンザ予防接種案内
10月	長期 95% 短期 85%	上半期の集計 秋行事を含めた営業	インフルエンザ予防接種の準備
11月	長期 95% 短期 85%	冬季緊急ショート時の 対応確認	ボランティア団体との調整

12月	長期 95% 短期 85%	冬季緊急ショートの対応 お歳暮の挨拶	施設サービス自己評価の実施
1月	長期 95% 短期 85%	新年の挨拶を兼ねた営業	利用者検診の準備
2月	長期 95% 短期 85%	長期入所申込者の確認	利用者検診の実施 事業計画の準備、作成
3月	長期 95% 短期 85%	下半期、年間の振り返り 今年度の相談のまとめ	顧客満足度調査の実施 家族会の準備
合計	長期 95% 短期 85% 累積 93%	年間を通して20人程度の退居見込み。その他入院者も出ることから、待機獲得を目指す。 短期は毎月の新規獲得を目指し、空床利用や短期から長期を構築していく。	
利用者様の様子を写真や文章にて情報の提供を行う ケアカンファレンスは毎月スケジュールを作成し随時開催していく			

《中野あおばの杜》

【概要】

- 1 病院、地域包括支援センター、居宅支援事業所への定期的な営業活動（空室状況の情報提供等）を行い、空床期間が空かないよう新規入所者獲得の為、面談や実調等迅速な対応を行う。
- 2 介護老人保健施設、小規模・看護多機能施設等への定期的な営業活動（空室状況の情報提供）を実施し、当施設で新規入所者の受入れが難しい場合に、一時的に受入れしていただくような他施設との新たな連携を構築する。
- 3 利用者様及びご家族のニーズを面談等により把握し、各部署と連携及び情報共有を行い、できるだけニーズに答えられるよう努める。また、利用者様・ご家族からの意見や苦情に対して相談課にて把握し、他職種と意見や苦情の対策等の検討を行い、迅速な対応を行う。
- 4 利用者様・ご家族・地域・施設が交流できるよう、地域活動への参加だけでなく、家族会の開催やご家族との交流会を実施し開かれた施設となるよう取り組む。また、近隣施設の利用を積極的に活用、ボランティア等の活用を行い、社会資源の活用を行うことで利用者様・ご家族・地域が楽しめる環境を構築する。
- 5 ご家族に安心して頂けるよう、また他の関係機関との連携がスムーズに図れるよう施設内での情報共有に努める。

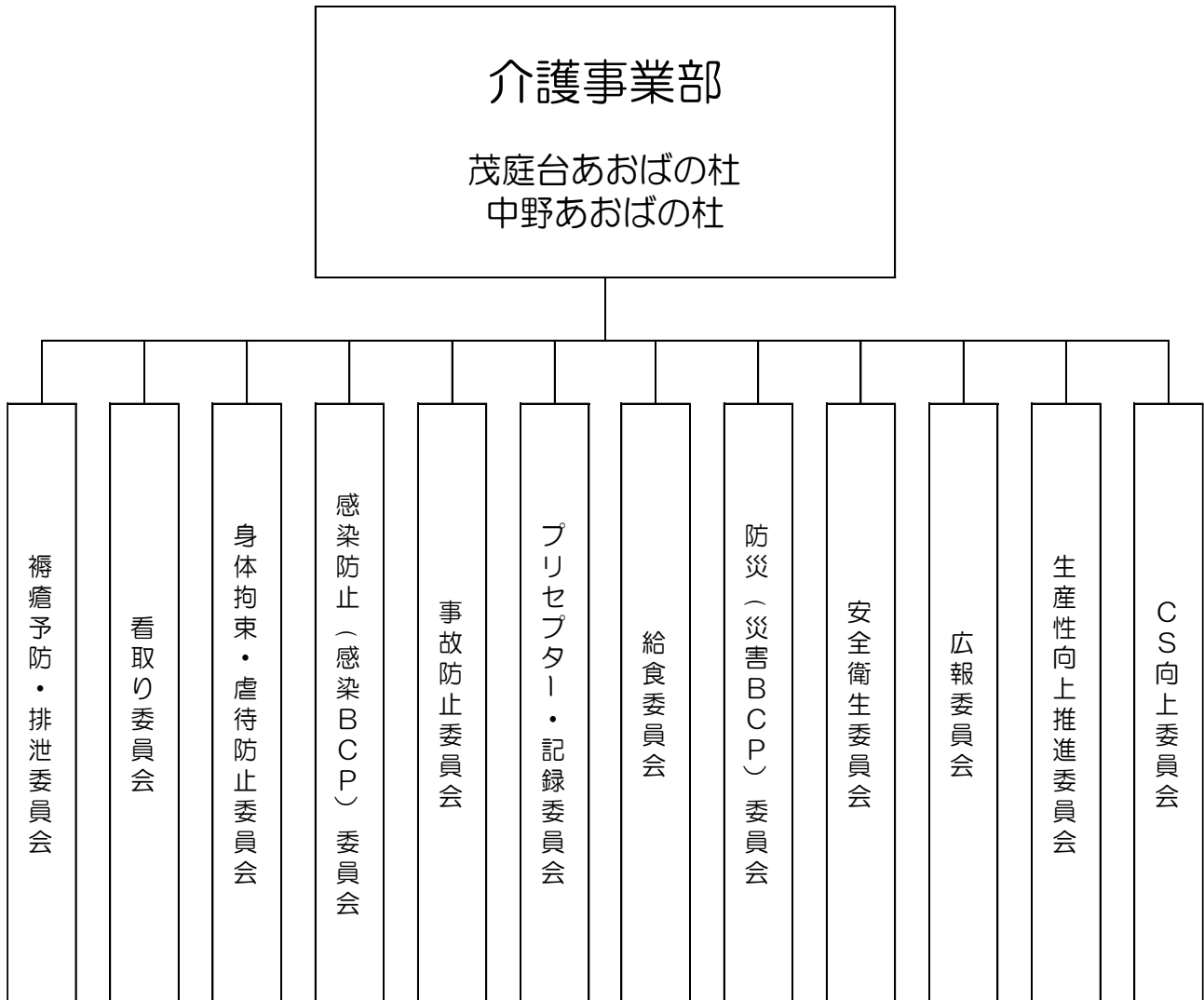
- 6 利用者様が体調不良や疾病、事故等による入院をした場合は、まず第一に利用者様が治療して退院、再入所できるように病院と連携を行う。入院状況が重篤又は再入所が困難な場合には、病院やご家族と情報共有や相談を行い、必要により契約の終了を検討する。契約終了後、利用者様の体調が回復した場合は、最大限に再入所できるように取り計らう。
- 7 各ユニットのラウンドを行い、利用者様本人の意向確認や、職員からの情報収集を行う。また、各職種が集まりカンファレンスを開催し、それぞれの専門職との情報共有を行い個別計画の立案を行う。カンファレンス以外でも各職種にて協力し情報共有を行い、連携を図りながら支援を行っていただけるよう努める。
- 8 施設内での認定調査実施にあたり、適切な要介護度の評価を行う。
- 9 施設サービスについて自己評価や外部評価を活用し、より質の高いサービス提供が実施できるよう取り組みます。また、施設の満足度調査を実施し利用者様、ご家族の満足度の向上に努める。
- 1 1 感染症対応について、感染症発生時は臨機応変に入退所の調整を行う。また、利用者様やご家族が安心して利用できるよう適切な状況説明を実施する。
- 1 2 感染対策として、外出時にはマスク着用や人混みを避ける等、利用者様やご家族へご理解とご協力を頂けるよう努める。

総合相談課年間予定			
月	目標稼働率	相談課活動内容	その他の活動内容
4月	長期 95% 短期 85%	訪問/FAX 営業（毎月） GW に向けショート調整	加算内容の見直し 料金表の見直し
5月	長期 95% 短期 85%	GW 中のショート調整	家族会の準備
6月	長期 95% 短期 85%	夏季に向けた入所調整	減免証等の更新のお知らせ
7月	長期 95% 短期 85%	病院への利用案内営業 緊急ショートの対応	施設夏祭りの宣伝 家族会の開催
8月	長期 95% 短期 85%	夏季緊急ショート時の対応 お中元の挨拶	保険証、減免証の確認 敬老会準備
9月	長期 95% 短期 85%	緊急ショートの振り返り	外部評価受入予定 インフルエンザ予防接種案内

10月	長期 95% 短期 85%	上半期の集計 秋行事を含めた営業	インフルエンザ予防接種の準備
11月	長期 95% 短期 85%	冬季緊急ショート時の 対応確認	ボランティア団体との調整
12月	長期 95% 短期 85%	冬季緊急ショートの対応 お歳暮の挨拶	施設サービス自己評価の実施
1月	長期 95% 短期 85%	新年の挨拶を兼ねた営業	利用者検診の準備 満足度調査実施
2月	長期 95% 短期 85%	長期入所申込者の確認	利用者検診の実施 事業計画の準備、作成
3月	長期 95% 短期 85%	下半期、年間の振り返り 今年度の相談のまとめ	家族会の準備
合計	長期 95% 短期 85% 累積 94%	年間を通して25人程度の退居見込み。その他入院者も出る ことから、待機獲得を目指す。 短期は毎月の新規獲得を目指し、空床利用や短期から長期を 構築していく。	
<p>毎月、利用者様の様子を写真や文章にて情報の提供を行う ケアカンファレンスは毎月スケジュールを作成し随時開催していく 出張デパートやボランティア等の受け入れ調整</p>			

2. 委員会別年間予定

2-① 委員会組織図



2025年4月1日より運営

2-② 委員会目標・活動計画

褥瘡予防・排泄委員会 年間予定

- ・利用者様の身体状況を把握し、褥瘡予防への取り組みに努める。
- ・排泄パターンを把握し適正な排泄用品を選定し、個々に適した排泄支援に努める。

看取り委員会 年間予定

- ・人生の終末期を過ごす上で、利用者様・ご家族の希望に寄り添い、多職種が連携し、個々にあったその方らしい終末期を提供する。

身体拘束・虐待委員会 年間予定

- ・利用者様の尊厳と主体性を尊重し、身体拘束を行わないケアに努める。
- ・虐待を誘発する原因を把握・除去し虐待の起きない環境整備に努める。

感染予防（感染BCP）委員会 年間予定

- ・研修会等へ参加し、最新の感染予防への取り組みを研鑽する。
- ・感染発生後もサービスを継続できるようBCPの見直しを行う。

事故防止委員会 年間予定

- ・利用者様の生活状況を常に観察し、住環境を整え、日々の生活がより安全に過ごせるようヒヤリハットを活用して事故防止に努める。

プリセプター・記録委員会 年間予定

- ・委員会が中心となり施設教育プログラム及び教育計画を更新する。
- ・利用者様のケア実施後にケア樹に入力する際の文章表現、項目の統一性を図る。

給食委員会 年間予定（偶数月開催）

- ・利用者様の健康維持・増進に向け、栄養バランスを考えた食事の提供を行う。
- ・季節に合わせた旬の食材を取り入れた食事イベントの計画を立案する。

安全衛生委員会 年間予定

- 労働環境の改善、労働安全衛生教育の実施、労働者の健康保持推進活動を通じ、職員のリスクを回避する措置を講じるよう努め、職員が働きやすい環境をつくる。

防災（災害BCP）委員会 年間予定

- 災害時も事業を継続できるよう委員会が中心となり事業継続計画を更新、訓練を実施する。
- 地域や近隣施設との連携を実施する。

広報委員会 年間予定

- 施設のサービス内容や情報を発信することで開かれた施設を目指す。
- 個人情報に十分注意し運営を行う。

生産性向上推進委員会 年間予定

- 生産性向上を促進するためICT等の導入を検討し、利用者様の安全並びに介護サービスの質を確保しながら、職員の負担軽減を目指す。

CS向上委員会 年間予定

- 施設の利用者様、ご家族の安心・信頼・満足に向けた取り組みを実施する。
- 利用されている方、利用される方の期待を上回るサービス提供を目指す。

今年度はこれらの目標を掲げ、各課・各委員会が果敢に取り組み、施設の質の向上・利用者様の生活の質の向上・利益の向上に努める。

3. 居宅介護支援事業所年間計画

ふくろうケアプランセンター茂庭台

【目標】

- 1 利用者の生き方や価値観の尊重を基本とした支援サービスを提供する。
- 2 その人の有する能力を最大限に生かし、自立支援に資するケアマネジメントを行う。
- 3 事業所全体の資質向上に努め、地域福祉の発展に貢献する。

【概要】

- 1 利用者本位の事業運営
 - (1) 適正なケアマネジメントの提供
 - (2) 住み慣れた地域でその人らしい暮らしを継続出来るよう、医療機関や介護サービス事業者等の多職種連携を強化する
 - (3) 24時間365日の連絡体制継続、および職員間の密な情報共有により事業所内全体で利用者の暮らしを支える
 - (4) 中重度要介護者となっても、その人らしい自立した生活の継続を支援する取組み
- 2 事業を支える安定した運営
 - (1) 公平中立なマネジメントを行い、地域住民や関係機関からの信頼に応える
 - (2) 事業所の安定運営のための先を見据えた職員配置を行う
 - (3) 依頼のあった新規利用者の担当は、事情がない限りは受けていく
- 3 リスクマネジメント
 - (1) 個人情報保護について研修と事例の検討等により認識を深め事故防止に取り組む
 - (2) 事故、苦情が発生した際は「報告書」を作成するとともに、事業所内会議において事故・苦情・内容を周知し意見交換を行い全員で共有して再発防止に取り組む
- 4 職員の健康管理
 - (1) 毎年1回の健康診断を行い、必要に応じて産業医との相談に繋げる対応を図る
- 5 災害対策
 - (1) 大規模災害発生時の対応として、事業所で毎月『安否確認優先順位名簿』を作成更新し、災害時における利用者の早急な安否確認に備える
 - (2) 地域の自治会や関連事業所との密接な協力体制の構築を推進する
 - (3) 隣接事業所特別養護老人ホーム茂庭台あおばの杜で設置している「防災（災害BCP）委員会」「安全衛生委員会」及び「感染防止（感染BCP）委員会」の各委員会に参加して施設内での災害防止、食中毒や感染症防止に取り組む

【その他】

給付管理件数実績目標（2025年4月～2026年3月）

目標件数 60件/月(予防ケアマネジメント及び予防給付含む)

Ⅲ. 保育事業部年間計画

あおば厚生福祉会 保育事業部

1 運営方針

子どもたちが、のびのびと心豊かな人間に成長・発達することを支援し、保護者が安心して預けられる保育園を目指します。

食育活動や手作りの給食などを通して心身ともに健やかに育て、安全面・衛生面についての安心を保護者に感じてもらえるような保育をしていきます。

2 保育方針

子ども一人ひとりを大切にし、心も身体も健康な子ども、人と関わる楽しさを感じられる子どもを育てる。

3 保育目標

①心も身体も健康な子ども

- ・十分に養護の行き届いた環境の中で、心の安定を図る。
- ・遊びを通して元気な身体を作る。
- ・生活に必要な健康、安全などの習慣や態度を身につける。

②人と関わる楽しさを感じられる子ども

- ・大人との信頼関係を基盤に、友だちと関わり合う楽しさを感じる。
- ・様々なことに取り組もうとする意欲を持つ。
- ・異年齢児との交流や活動を通じ、思いやりの心が育つ。

4 食育目標

楽しく食べる体験を深め、『食を営む力』の基礎を培う。

食事を楽しみ、食への興味・関心を高め、心身ともに健康を保つ

①食育によるめざす子ども像

- ・お腹がすくリズムのもてる子ども
- ・食事づくり、準備にかかわる子ども
- ・食べたいもの、好きなものが増える子ども
- ・食べものを話題にする子ども
- ・一緒に食べたい人がいる子ども

②食事づくりで大切にすること

- ・素材の味を生かし、薄味を心がける。
- ・旬のおいしさを伝えるため、季節の食材を取り入れる。
- ・年齢にあった材料の切り方や盛り付けをする。
- ・提供した昼食とおやつので展示、料理レシピの提供

- ・毎月の献立表、給食だよりによる食の情報提供

③食事に關するいろいろな活動の取り組み

- ・栽培活動（プランターや畑を活用して野菜を栽培します）
- ・会食（定期的にみんなで集まっての楽しい食事会を行います）
- ・行事食（伝統行事に因んだ料理を献立に取り入れます）

④一人ひとりにあわせた食事に配慮すること

- ・食物アレルギーなどの除去食が必要な場合は、医師の診断書もとに、ご家庭と相談しながら、対応食の提供を行います。
- ・離乳食は、入園時に食事に關する面談を行い、月齡、生活の様子、離乳食の進み具合、発育、健康状態等の把握を行います。
また、離乳食開始後もご家庭と連絡を取り合いながら、離乳食を進めていく。
- ・配慮食は、下痢、嘔吐などの病後、お子さんの体調に合わせてできる食事の配慮を行います。
その他配慮食希望の場合は、ご家庭からお知らせいただいた上で、対応していく。

5 健康保持

- ・囑託医による健康診断は年2回、歯科健康診査は年1回行う。
- ・保育課保健師の巡回指導を受ける。
- ・SIDS（乳幼児突然死症候群）から赤ちゃんを守るため、以下を実施
 - ①うつぶせ寝はさせないようにする。
 - ②できるだけ母乳育児を推奨する。
 - ③寝ている間、子どものそばを離れず、呼吸の確認など子どもの様子を観察チェックする。
 - ④毎月一回、全職員がサルモネラ、O-157、赤痢菌など『腸内細菌検査』を受ける。
 - ⑤遊具は定期的に消毒し、感染症が発生した時は、次亜塩素酸ナトリウム液で室内や遊具を消毒する。

6 安全管理

- ・毎月一回、火災、地震などを想定し、『避難訓練』を行う。
また、『不審者対応避難訓練』を年一回行う。
- ・毎月一回、遊具、保育室、園庭遊具などの安全点検を行う。
- ・年一回、消防署員による防災訓練を行う。
- ・非常用ボタン、不審者対応モニターを設置
- ・毎年一回、応急手当、心肺蘇生法について講習を受講する。
- ・保育園敷地内、園舎内は禁煙

7 非常時・緊急時の対策

- ・保育中に、子どもの健康状態の急変、その他緊急事態が生じた時は、子どもの保護者が予め指定した緊急連絡先に連絡する。また、囑託医または子どもの主治医に相

談する等の措置を講じる。

保護者と連絡が取れない場合は、乳幼児の身体の安全を最優先させ、責任を持って然るべき対処を行う。

- 保育園周辺で緊急事態が発生した場合は、ご家庭へお迎えの依頼を行う。
- 電話がマヒ状態になり連絡が取れない場合は、以下の方法で連絡する。

【災害時の連絡方法】

- 災害ダイヤル『171』へ保育園の情報や保護者の方へ伝言の録音を行う。
- 公衆電話の活用

8 外部研修計画

経験年数	研修内容
3年未満	<ul style="list-style-type: none">• 新人研修（社会人として）• 初任保育士研修• 乳児保育研修
経験年数による対象者	<ul style="list-style-type: none">• 施設長研修• 主任保育士研修• 中堅保育士研修• マネジメント研修• 乳児保育研修• 幼児保育研修• 特別支援保育研修• リーダー研修• コーディネーター研修• 保護者支援、子育て支援研修• 食育、アレルギー研修• 保健衛生、安全対策研修• 栄養士研修• アンガーマネジメント研修• 講演会

i. 富沢南なないろ保育園年間計画

1 年間行事予定

4月	入園式
5月	こどもの日会 健康診断 給食参観・懇談会(3・4・5歳児) 歯科健康診査
6月	プール開き 給食参観・懇談会(0・1・2歳児)
7月	七夕会 夏祭り
8月	スイカ割り体験
9月	
10月	運動会 健康診断 ハロウィンパーティー
11月	遠足(3・4・5歳児)
12月	生活発表会 クリスマス会
1月	もちつき会 お店屋さんごっこ
2月	節分 保育参観・懇談会
3月	ひな祭り会 卒園式 お別れ会

※ 毎月の実施行事…誕生会、避難訓練、身体測定

2 食育年間計画

(未満児)

月	0歳児	1歳児	2歳児
4月	保育園の食事に慣れる	保育園の食事に慣れる	日々の食事の観察
5月	食事前後のあいさつ 保育士とともに『いただきます』『ごちそうさま』の挨拶をしようとする	日々の食事の観察	日々の食事の観察
6月	食事の時間を楽しむ 日々の食事の観察をしながら「おいしいね」などの声掛けをしていく	日々の食事の観察	スプーンの練習 スプーンをえんぴつ持ちして食べる習慣を身につける
7月	手づかみ食に慣れる 自分で食べようとする気持ちを育てる 食事介助をしながら手づかみ食べを見守っていく	日々の食事の観察	スプーンを使ってクッキング えんぴつ持ちを意識しながら、盛り付けたものを食べる
8月	コップに慣れる コップを持つ、コップで飲む練習をする	日々の食事の観察	日々の食事の観察
9月	日々の食事の観察	日々の食事の観察	日々の食事の観察
10月	いもほりごっこ 収穫した野菜を見たり触れたりして収穫の喜びを味わう さつまいもの模型と実物を新聞紙プールに隠し、いもほりごっこをする	いもほり 畑で芋ほり体験を行う さつまいもクッキング 収穫物を用いて簡単な調理活動を行う	いもほり 畑で芋ほり体験を行う
11月	さつまいもクッキー作り クッキー生地感触を楽しむ	日々の食事の観察	日々の食事の観察
12月	日々の食事の観察	クッキー作り クッキー生地感触を楽しみながら、クッキング活動を行う (事前にクラスで粘土遊びをする)	日々の食事の観察
1月	食べ物のお話 食に関する絵本に興味を持つ 絵本の読み聞かせをする	スプーンの練習 えんぴつ持ちを知り、持ってみようとする	箸の練習 箸の練習を始める 茶碗の持ち方を知る
2月	日々の食事の観察	日々の食事の観察	おにぎり・ふりかけ作り ラップおにぎり、オリジナルふりかけを作る
3月	日々の食事の観察	日々の食事の観察	日々の食事の観察

(以上児)

月	3 歳児	4 歳児	5 歳児
4月	日々の食事の観察	日々の食事の観察	日々の食事の観察
5月	お箸の練習をしよう！ 箸を使って食事することに興味を持ち、持ち方を確認しながら少しずつ使っていく さつまいもの栽培 畑でさつまいもの栽培を行う	さつまいもの栽培 畑でさつまいもの栽培を行う	さつまいもの栽培 畑でさつまいもの栽培を行う
6月	さつまいもの観察 畑のさつまいもの観察を行う	さつまいもの観察 畑のさつまいもの観察を行う	食事のマナーを確認しよう！ 普段の箸や茶碗の持ち方、姿勢などを振り返り、正しい食事マナーを身につける さつまいもの観察 畑のさつまいもの観察を行う
7月	日々の食事の観察	配膳の仕方、三角食べを知る 配膳の仕方を知り、食事の準備や片づけを進んで行う 食器を置く場所を知り、身につける 三角食べを知りバランスよく食べる ※ごはんとおかずを混ぜないで食べることを伝える	体の仕組みを知ろう 体の仕組みと食べ物のつながりを知り、バランスよく食べることの大切さを知る 食べ物とうんちの関係を知る 一年生になったら…学校給食の話 小学校では給食時パンの袋を開けたりジャムを塗ったりすることを知り、給食時にパンにジャムを塗って食べる練習を始める(月1)
8月	夏野菜でサラダ作り！ 夏野菜に触れ、食べてみようとする	夏野菜クッキング 収穫したトマトやピーマンを使ってピザ作りをする	夏野菜でカレー作り 収穫の喜びを味わい、調理の楽しさを知る ※包丁の使用検討
9月	お箸の練習をしよう！ 箸を使って食事することに慣れ、持ち方を確認しながら使えるようになる	三色のグループでお弁当を作ってみよう！ バランスよく食べることが大切なことを知り、苦手なものも一口食べてみようとする バランス良くを意識しながら好きなものを詰めてオリジナルのお弁当を作ってみよう！	日々の食事の観察
10月	いもほり 秋の収穫物に触れ、季節を感じる 収穫の喜びを味わう さつまいもを洗ってふかし芋を作る手伝いをする	いもほり 秋の収穫物に触れ、季節を感じる 収穫の喜びを味わう さつまいもを洗ってふかし芋を作る手伝いをする	いもほり 秋の収穫物に触れ季節を感じ、収穫の喜びを味わう さつまいもを洗ってふかし芋を作る手伝いをする スイートポテト作り 収穫物を用いてクッキングする楽しさを味わう(1歳児と合同)
11月	焼きいも作り 収穫物を使って焼きいもを作り、食べる	芋煮クッキング 収穫物を使って芋煮を作る 調理の楽しさを味わう	日々の食事の観察
12月	日々の食事の観察	魚の解体ショー 魚がどのようにして食べられる形になっているかを知る 食事を通じて命を頂いていることを再認識する	魚の解体ショー 魚がどのようにして食べられる形になっているかを知る 食事を通じて命を頂いていることを再認識する
1月	日々の食事の観察	春の七草を観察しよう！ 春の七草の名前を知り、日本の伝統食に興味を持つ ※園外散策 七草粥の由来を知り、七草粥を味わう	オリジナルラーメンを作ろう！ 自分の好きな具材をトッピングし、作って食べる事を楽しみ、食べる意欲へとつなげる 春の七草を観察しよう！ 春の七草の名前を知り、日本の伝統食に興味を持つ 七草粥の由来を知り、七草粥を味わう
2月	日々の食事の観察	パン作り パン生地の感触を楽しみながら、オリジナルパンを作る楽しさを味わう	恵方巻き作り 恵方巻きの由来を知り、行事食に親しみを持つ 恵方巻きを作ることで節分を楽しむ パン作り パン生地の感触を楽しみながら、オリジナルパンを作る楽しさを味わう
3月	お別れ食事会 卒園児に感謝の気持ちを持ち、友だちと食事を楽しむ	お別れ食事会 卒園児に感謝の気持ちを持ち、友だちと食事を楽しむ	デコレーションケーキ作り ケーキのデコレーションを楽しむ 卒園の喜びを感じながら楽しみながら食べる お別れ食事会 卒園の喜びを感じながら、友だちと食事を楽しむ

3 避難・防災年間計画

月	日 (曜日)	訓練のねらい	訓練方法		避難経路・集結場所
			時間	想定	
4月	23 (水)	避難訓練の目的を知る 非常口の目印と位置を確認する	9時50分	火災 近隣民家 より出火	保育士のそばに集合(保育室入口) らいおん、ばんだ組はこあら組へ移動 各保育室→出入口
		不審者避難の仕方を確認			職員会議にて対策検討
5月	21 (水)	火災の合図で担任のもとに集まり、指示に従って行動する	10時00分	火災 近隣民家 より出火	保育士のそばに集合(保育室入口) ぺんぎん→テラス、ひよこ・しまうま→職員玄関前、りす・こあら→正面玄関前、らいおん・ばんだ→非常階段前
6月	27 (金)	災害の違いにより避難方法が変わることを知る 地震時の避難方法を知る	10時00分	地震 (震度4)	保育士のそばに集合(非常口) 1F:テラス→外、2F:非常階段→外
		不審者避難訓練	18時30分		不審者避難の仕方確認→実施
7月	25 (金)	保育士の声掛けに反応し、おやつや玩具に気を取られないで避難する	15時30分	地震 (震度4)	保育士のそばに集合(非常口) 非常口→保育園出入口
		浸水避難訓練	10時00分	浸水警報	保育者の指示のもと、二階へ避難する
8月	27 (水)	朝の時間帯の避難訓練の目的を知る 非常口の目印と位置を確認する 保育士の側に集まる・警報機・サイレンの音を知ろう	7時30分	火災 近隣火災	保育士のそばに集合(室内の安全な場所) 各保育室→非常口
		不審者避難訓練	10時10分		不審者避難の仕方確認→実施
9月	22 (月)	そばにいる保育士の指示に従い避難する 夜間避難訓練	18時30分	地震 (震度4)	保育士のそばに集合(室内の安全な場所)→非常口
	27 (土)	保育避難訓練 保育士の指示に従い避難する	10時00分	火災 近隣火災	保育士のそばに集合(室内の安全な場所)→非常口
10月	24 (金)	保育士の指示を聞き、押ししたり、慌てたりせずに順序良く避難する 二次避難場所を知る	無警告	火災 近隣火災	保育士のそばに集合(非常口) 非常口→保育園出入口→園庭等の安全な場所→富沢南二丁目公園
11月	7 (金)	消防署の方の話を聞いたり、実際の消火および通報の訓練を行う 避難時に必要な避難グッズを使用し、避難方法の確認を行う 幼児教育防災の紙芝居にて危ない時の約束を知る	10時15分	総合火災 訓練	保育士のそばに集合(保育室入口) 各保育室・活動場より園庭
12月	6 (土)	不審者避難訓練	10時00分		不審者避難の仕方確認→実施
	12 (金)	担任以外の職員の指示に従い、安全な場所へ避難する	無警告	地震 (震度5)	保育士のそばに集合(室内の安全な場所)→非常口→園庭

1月	28 (水)	近くの保育士のもとに集まって指示を聞き、落ち着いて避難する	7時30分	地震 (震度4)	保育士のそばに集合(室内の安全な場所)→非常口→園庭
2月	7 (土)	浸水避難訓練			
	20 (金)	園内出火の避難方法を確認し、速やかに避難する	19時30分	火災 園内・調理室より出火	保育士のそばに集合(非常口)
3月	6 (金)	保育士の指示に従い、迅速に避難する 三次避難場所を知る	10時10分	地震 (震度7) 津波警報	保育士のそばに集合(非常口) 非常口→園庭→富沢小学校
	7 (土)	Jアラート時の避難についての仕方を知る	10時00分	Jアラート 発令	屋内に避難、警報解除まで待機

4 職員年間研修計画

(園内研修)

月	研修名	研修内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の処遇・書類作成について ・アレルギー児・離乳食について ・保護者支援、子育て支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育目標の確認、個人情報の取り扱い、秘密保持、救命救急、人権擁護、虐待、各書類の書き方などを再確認し、園全体で統一化を図る ・アレルギー児や離乳食の形態を把握し、誤食等を防ぎ安全に食事提供が出来るようにする ・保護者支援を学び、保護者にとって信頼できる保育士をめざす
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・保健衛生 ・食育～食事のマナーについて～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症(種類・症状)、嘔吐処理、怪我の処理の仕方、手洗いなどを学び、緊急時に対応できるようにする ・乳幼児期に必要な食事やマナーについて学び、保育に活かせるようにする
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議① 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の中で気になる子や支援が必要な子について職員間で情報共有をし、対応方法などを学ぶ
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・各テーマごとに職員同士が話しをし、職員一人ひとりの保育観を知る
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援事業とは～外部講師より ・AED 講習 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援について学び、適切な支援や外部との繋がりを持つ ・AED の使用方法を学び、必要な場面で正しく使用できるようにする
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議② 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議①を元に経過を確認する ・問題となっている点を職員同士で話し合い解決策やアドバイスをし、保育に活かす
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ノンコンタクトタイム 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育から離れ、クラスの取り組みの反省、振り返りを行なう
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・各テーマごとに職員同士が話しをし、職員一人ひとりの保育観を知る
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・発達支援事業とは～外部講師より 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援について学び、適切な支援や外部との繋がりを持つ
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り、次年度について 	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の保育を振り返り、自己研鑽や保育のカンファレンスを行う
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議のまとめを行い、進級や進学に向けての話し合いを行う
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度引き継ぎ ・ノンコンタクトタイム 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度に向けて園児の健康状況等の引き継ぎや保育の振り返り、反省を行う ・1年間通して行ってきた OJT について見直し、次年度へ活かす

ii. 鹿野なないろ保育園年間計画

1 年間行事予定

4月	進級式(3・4・5歳児) 入園式 クラス懇談会(0・1歳児) 健康診断
5月	こどもの日会 親子遠足(4・5歳児)
6月	保育参観(2・3・4・5歳児) 歯科健康診査
7月	七夕会 夏まつり
8月	
9月	運動会
10月	健康診断
11月	
12月	生活発表会
1月	保育参観(0・1歳児) 懇談会(2・5歳児)
2月	豆まき会
3月	ひな祭り会 卒園式 お別れ会

※ 毎月の実施行事…お誕生会、避難訓練、身体測定

2 食育年間計画

(未満児)

月	0 歳児	1 歳児	2 歳児
4 月	保育園の食事に慣れる 新しい環境・食事のリズムに慣れる	保育園の食事に慣れる 新しい環境・食事のリズムに慣れる	日々の食事の観察 新しい環境に慣れる 食事にまつわる習慣を継続する
5 月	日々の食事の観察 新しい環境・食事のリズムに慣れる 咀嚼・嚥下・摂食行動の把握	日々の食事の観察 新しい環境・食事のリズムに慣れる 咀嚼・嚥下・摂食行動の把握	食事の挨拶 食事前後の挨拶を身につける
6 月	日々の食事の観察 新しい環境・食事のリズムに慣れる 咀嚼・嚥下・摂食行動の把握	食事の挨拶 食事前後に挨拶をしようとする	食事を楽しむ 楽しい雰囲気の中で食事をする
7 月	手づかみ食に慣れる 手づかみで食べようとし、自分の一口量を知る	食具を使う事に慣れる 自ら食具を使い、食べようとする	寒天あそび 固さや色・温度を感じながら、感触遊びを楽しむ
8 月	コップに慣れる コップを持ち、飲むことに慣れる	野菜スタンプ 夏野菜に触れ、色や形を楽しみながらスタンプをする	とうもろこしの皮むき 旬の食材に触れながら、食べる意欲に繋げる
9 月	日々の食事の観察 個々の月齢に合った食事を自ら食べる	よく噛んで食べる 様々な調理形態に慣れ、よく噛んで食べる	食具の持ち方 スプーン・フォークを鉛筆持ちで持ってみようとする
10 月	食事の挨拶 保育者の真似をして食事の挨拶をしようとする	きのこほぐし 旬の食材に触れながら、感触遊びを楽しむ	マナー（食事の姿勢） 座り方や食器、食具の持ち方など簡単なマナーを知る
11 月	日々の食事の観察 個々の月齢に合った食事を自ら食べる 食具に興味を持つ	おいものお話 旬の食材に触れながら、味や匂いを知る	おいものお話 旬の食材に触れながら、味や匂いを知る
12 月	食具を使う スプーン・フォークを使って食べることに慣れる	食具の持ち方 スプーン・フォークを鉛筆持ちで持ってみようとする	マナー（食具の持ち方） スプーン・フォークの鉛筆持ちを定着させる
1 月	よく噛んで食べる 様々な調理形態に慣れ、よく噛んで食べる	白菜ちぎり 旬の食材に触れながら、感触遊びを楽しむ	行事食を楽しむ 食事を通して行事を楽しむ
2 月	野菜に触れる 冬野菜に触れ、感触や匂いを感じる	食事を楽しむ 楽しい雰囲気の中で食事をする	クッキング（ラップおにぎり） 作り食べることを楽しむ
3 月	食事を楽しむ 楽しい雰囲気の中で食事をする	簡単な食事のマナー 進級に向けて、正しい食べ方を知る	簡単な食事のマナー 箸に触れる 進級に向けて、マナーを再確認する 箸に興味を持つ

(以上児)

月	3 歳児	4 歳児	5 歳児
4 月	日々の食事の観察 新しい環境に慣れる 食事にまつわる習慣を継続する	日々の食事の観察 マナー（食器の位置） 新しい環境に慣れる 正しい食事の仕方を知り、実践する	日々の食事の観察 マナー（箸の持ち方・三角食べ） 春野菜の観察 箸の持ち方を定着させる 三角食べを意識する 旬の野菜に触れ、食べる意欲を高める
5 月	ピーマンの栽培 命の大切さや自然の恵み、育てる楽しさを知る	ミニトマトの栽培 命の大切さや自然の恵み、育てる楽しさを知る	枝豆・ナスの栽培 命の大切さや自然の恵み、野菜の生長の仕方を知る
6 月	マナー（箸の持ち方） そらまめの観察 正しい箸の持ち方を知り、実践する 旬の食材に触れながら、食べる意欲を高める	完食シール だしの飲み比べ 自分で食べられる量を知り、食べきる 達成感を味わう だしを通して和食に興味をもつ	三色食品群 様々な食材の働きを知り、興味をもつ
7 月	クッキング（ピーマンとツナのおにぎり） 育てた野菜を使用して調理する事を楽しむ 絵本の内容と繋げ興味を高める	クッキング（サンドイッチ） 育てた野菜を使用して調理する事を楽しむ	クッキング（夏野菜カレー） 育てた野菜を使用して調理する事を楽しむ 友達と協力して作り上げることで達成感を味わう
8 月	クッキング（フルーツポンチ） 作ることを楽しみ、季節感を味わう	クッキング（うどん） 作ることを楽しみ、季節感を味わう 身近な食材の成り立ちを知る	クッキング（ずんだ・手作り味噌） 郷土料理に興味を持つ 豆から様々な食品ができることを知る
9 月	小松菜の栽培 命の大切さや自然の恵み、育てる楽しさを知る	カブの栽培 命の大切さや自然の恵み、育てる楽しさを知る	きのこの栽培 命の大切さや自然の恵み、きのこの生長の仕方を知る
10 月	似ている食べ物のお話 似ている食べ物の違いを知り、興味を高める	クッキング（スイートポテト） 旬の食材を使って調理をし、秋の味覚を味わう	クッキング（芋煮） 郷土料理に興味を持つ 旬の食材や手作り味噌、栽培したきのこを使用し、秋の味覚を味わう
11 月	クッキング（小松菜ケーキ） 育てた野菜を使用して調理する事を楽しむ 調理過程の変化を知る	魚の解体 切り身ではない魚に触れ、命の大切さや自然の恵みを知る	体のしくみと食べ物 食べ物と体のつながりについて知る
12 月	乾物の観察 乾物について知り、水に戻る様子を観察して楽しむ	クッキング（クッキー） 作ることを楽しみ、季節感を味わう 行事を楽しむ	クッキング（ケーキ） 作ることを楽しみ、季節感を味わう 行事を楽しむ
1 月	クッキング（ふりかけ） 作ることを楽しみ、食材の音や匂いを感じる	お正月料理のお話 日本の食文化に触れ、興味関心を持つ	七草のお話 クッキング（餅） 七草について知り、興味関心を持つ 日本の食文化に触れ、調理を楽しむ
2 月	クッキング（バター） 作ることを楽しみ、身近な食材の成り立ちや調理過程の変化を知る	地域の食材（油麩） 地域の食文化に触れ、興味関心を持つ	クッキング（フォンデュ） 作ることを楽しみ、季節感を味わう 行事を楽しむ
3 月	簡単な食事のマナー 進級に向けて、マナーを再確認する	簡単な食事のマナー クッキング（クレープ） 進級に向けて、マナーを再確認する 作ることを楽しみ、楽しく食べる	卒園クッキング 思い出に残るような、楽しいクッキングを行う

3 避難・防災年間計画

月	日(曜日)	訓練のねらい	訓練方法		避難場所
			時間帯	設定	
4月	11日(金)	・知らせを聞き、保育士の傍に集まる	午前中	地震 震度4	各保育室
5月	9日(金)	・避難訓練の目的を知る	午前中	地震 震度4	園庭
6月	17日(火)	・二次避難場所を知る ・保育士の指示に従い慌てず避難する	午前中	地震 震度4	園庭→ 鹿野3丁目公園
7月	11日(金)	・火災の際の避難の仕方を知る	給食時	火事 給食室より 出火	園庭
	23日(水)	・水害が起きた時の避難の仕方を知る	午前中	水害	ホール
8月	8日(金)	・ミサイル発射時の避難の仕方を知る	午前中	ミサイル	園舎内 (窓から離れた所)
9月	10日(水)	・傍にいる保育士の指示に従って避難する	延長保育時	火事 近隣より出火	つきぐみ保育室
10月	10日(金)	・静かに消防士さんの話を聞く ・保育士の指示に従い安全に避難する	午前中	火事 (総合)	園庭
11月	11日(火)	・三次避難場所を知る ・保育士の指示に従い慌てず避難する	午前中	地震 震度6	園庭→ 長町南小学校
12月	10日(水)	・担任以外の保育士の指示に従い、落ち着いて避難する	早番時	火事 近隣より出火	ほしぐみ保育室
1月	10日(土)	・保育士の声掛けにより、外まで安全に逃げる	午前中 (土曜日)	火事 近隣より出火	園庭
	16日(金)	・不審者がいることや、自分の身の安全を守ることを知る	午前中	不審者	ホール
2月	10日(火)	・保育士の指示に従い避難する	午後	地震 震度4	玄関
3月	無警告	・近くにいる保育士の声掛けに反応し、安全に避難する	無警告	火事 給食室より 出火	園庭

4 職員年間研修計画

(園内研修)

月	研修内容	研修のねらい
4月	・児童の処遇	・個人情報の取り扱い、秘密保持、人権擁護、虐待等を再確認し、園全体で統一化を図る
	・アレルギー研修（エピペン対応）	・正しい使い方について学び、緊急時に対応できるようにする
	・日誌の記入の仕方について	・皆で確認する事で、園全体で統一化を図る
	・指導計画の書き方について	・書き方について学び、スムーズに書けるようにする
	・嘔吐処理について	・正しい方法を再確認する
	・薬の取り扱い、熱性痙攣について	・知識を深め、実際に起きた時に慌てずに対応出来るようにする
	・アレルギー食、離乳食について	・アレルギー児を全体で把握し、誤食等を防ぎ安全に食事提供出来るようにする
	・感染症について	・感染症についての正しい知識を学び、緊急時に対応できるようにする
	・乳児保育について	・乳児期における大人との関わりの重要性を再確認し、保育に活かせるようにする
・幼児教育について	・幼児教育の基礎を再確認し、保育に活かせるようにする	
5月	・保護者支援・子育て支援	・信頼される保育士となれるよう、保護者支援について知識を身につける
6月	・水遊びについて	・安全に水遊びを行えるように、ルールを確認する
	・AED講習	・AEDの正しい使い方を知り、必要な場面できちんと使えるようにする
	・ケース会議①	・保育の中で気になる子や支援が必要な子について職員間で情報を共有し、対応方法を学ぶ
7月	・特別支援保育について	・研修での学び、昨年度の特別支援保育での経験をもとに、子どもの育ちへの関わりの重要性を確認する
8月	・保育経過記録の書き方について	・充実した記録を残せるように、書き方を確認する
9月	・意見交換	・テーマに対して「意見交換」や自分の経験談を紹介し合い、日々の保育に活かす
10月	・ケース会議②	・継続的に子どもの変化や育ちについて確認し合い、適切な援助や対応を職員間で共有する
11月	・食育について	・栄養素や食育活動について学び、その必要性を理解した上で子どもと関わられるようにする
12月	・人気の遊び（手遊び・運動遊び等）	・各年齢に合った遊びや普段保育の中で行っている遊びを紹介し合い、保育に活かす
1月	・意見交換	・テーマに対して「意見交換」や自分の経験談を紹介し合い、日々の保育に活かす
2月	・ケース会議③	・ケース会議のまとめを行い、進級や就学に向けての話し合いを行う
3月	・年間反省	・1年を通して行ってきたOJTについて見直し、次年度へ活かす

iii. 榴岡なないろ保育園年間計画

1 年間行事予定

4月	☆入園式 健康診断
5月	こどもの日会 ☆保護者懇談会・おやつを試食会
6月	歯科健康診査 水遊び・プール始まりの会
7月	七夕会 ☆夏祭り
8月	プール納め
9月	☆運動会
10月	バス遠足（4・5歳児） 健康診断 ハロウィンパーティー 芋ほり（5歳児）
11月	交通安全教室（5歳児）
12月	クリスマス会 ☆生活発表会
1月	☆保護者参観・懇談会（全クラス）
2月	豆まき会
3月	ひな祭り会 ☆卒園式 お別れ会 大きくなったお祝い会

※ 毎月の実施行事…お誕生会、避難訓練、身体測定

※ ☆は保護者参加行事

2 食育年間計画

(未満児)

月	0歳児	1歳児	2歳児	絵本給食
4月	食事の観察 食事のリズムに慣れる	食事の観察 食事のリズムに慣れる	食事の習慣の継続 新しい環境に慣れる	「おいしいぱん ぱんれっしゃ」
5月	食事の観察 食事のリズムに慣れる	いただきます ごちそうさま 食事の前後に挨拶をする	準備と後片付け 手洗いなどの準備や お片づけを習慣づける	「めんめん レース」
6月	みんなで食べよう 楽しい雰囲気食べる	よく噛んでたべよう ひとくち量を覚えたり、 咀嚼を十分したりする	お手伝いをしよう 野菜ちぎり、きのこさき等 体験を通して意欲をもつ	「ポコポコ ゼリー」
7月	手づかみ食に 慣れる 自分で食べる気持ち育てる	食具に親しもう 食具を使い分けて 自分で食べる	バナナの皮むき 寒天遊びとスプーン ばんばんもちの練習	「スープに なりました」
8月	コップで 水分をとろう コップを持ち、飲むとする	夏野菜と仲良くなる 食べる意欲を育てる 簡単クッキング	夏野菜と仲良くなる 野菜の皮むき 野菜スタンプ	「とうもろこし くんがね」
9月	食具に親しもう スプーンを持ってみる	食べる姿勢って？ 座り方などに気をつける	かっこよく食べよう 食べる姿勢や食べ方など	「おいしいおと」
10月	いただきます ごちそうさま 保育者のまねで挨拶をする	いもほりごっこ 収穫に興味を持ち食べる	お手伝いをしよう 野菜ちぎり、きのこさき等 体験を通して意欲をもつ	「おべんとう バス」
11月	野菜と仲良くなる 親しみをもち食べようとする	準備と後片付け 手洗いなどの準備や お片づけを習慣づける	フルーツヨーグルト 作り ばんばんもちで 簡単クッキング	「ばけたくん」
12月	食具で食べよう スプーンやフォークを 持って食べようとする	乾物の不思議 乾物が水で戻る様子を観察し 食べる意欲を育てる	みかんの足湯 ～冬至～ 旬な果物に興味を持ち 日本の行事や季節を楽しむ	「しろくまちゃん のホット ケーキ」
1月	よくもぐもぐしよう 咀嚼を十分して丸のみしない	冬野菜と仲良くなる 食べる意欲を育てる スタンプ	かぶと大根のちがひ 食べる意欲を育てる	「おおきなかぶ」
2月	きのこ仲良くなる 親しみをもち食べようとする	ココロきびだんご ころがして粉をまぶす	お手伝いをしよう 野菜ちぎり、きのこさき等 体験を通して意欲をもつ	「のりもの クッキー」
3月	果物と仲良くなる 親しみをもち食べようとする	スムージー作り 簡単な調理を楽しむ	ねこさんスパゲティ ばんばんもちで作ろう！	「ねこさん スパゲティ」

(以上児)

月	3歳児	4歳児	5歳児	絵本給食
4月	野菜を育てよう	枝豆とピーマンを育てよう	野菜を育てよう	「ポコポコ ドーナツ」
5月	そらまめくんのベッド 食材を知り、季節を感じる	おにぎり作り	お弁当をつめよう	「まほうのばく ばくべんとう」
6月	ばんばん持ちの練習 ゼリーの盛り付け	お弁当をつめよう よく噛んで食べよう	たまごの不思議 卵料理クッキング	「かむにんじゃ 参上！」
7月	おはしの練習	ずんだ作り 郷土料理を知る 収穫を喜ぶ サンドイッチ作り	パン作り 包丁体験と サンドイッチ作り	「サンドイッチ つくろう」
8月	牛乳のへんしん！ 変化を楽しむ バター、ヨーグルト、牛乳寒天	へんしんまめまめ 枝豆から大豆の変化 ピザ作り	包丁体験と野菜スタンプ 野菜に親しむとともに 包丁の使い方を知る	「ヘルシー戦隊 だいずレン ジャー」
9月	スイートポテト作り 食事のマナー	ふりかけおにぎり作り 手作りふりかけ 味噌作り	魚の観察・クッキング 3色食品分けを学ぼう	「ノラネコ ぐんだん ピザをやく」
10月	きのこの栽培・収穫 簡単クッキング	きのこの栽培・収穫 芋煮作り 異年齢で調理	きのこの栽培・収穫 芋煮作り 異年齢で調理	「おばけの てんぷら」
11月	だしの話 ラップおにぎり作り	炊飯体験 ラップおにぎり作り	計量の日 さつまいもクッキング	「まほうのわく わくおにぎり」
12月	もちつきごっこ 日本の行事や季節を楽しむ	クッキーの型抜き	うどん作り 自分で作る楽しさを感じる	「たまねぎちゃん あららら！」
1月	七草について 日本の行事や季節を楽しむ	おせち料理あそび 日本の行事や季節を楽しむ	骨付き魚に挑戦	「ぐりとぐら」
2月	野菜をたべよう 栄耀の話をする	クッキング	バランスアップ スープ作り	「ワタナベさん」
3月	パフェ作り 進級への期待を持つ	クレープ作り 自分で具材を選び包む	卒園クッキング カレー作り	卒園リクエスト

3 避難・防災年間計画

月	日 (曜日)	訓練のねらい	訓練方法		集結場所	実施方法・経路
			時間	想定		
4	15 (火)	・避難訓練の目的を知る ・知らせを聞き、保育士の傍に集まる	10:00	地震 震度4	各保育室	・保育士の傍に集まる ・各クラス、落下物の恐れのない安全な場所へ避難
5	20 (火)	・災害の違いで避難の仕方が変わることを知る ・火災時の避難方法を知る	9:45	火災 (給食室)	園駐車場	・くりおねは玄関→園駐車場 他クラス、非常階段→園駐車場へ避難
6	17 (火)	・二次避難場所を知る ・保育士の指示に従い慌てずに避難する	9:45	地震 震度4 →火災	各クラス	・くりおねは玄関→園駐車場→榎岡3丁目公園、他クラスは非常階段→園駐車場→榎岡3丁目公園へ避難
7	8 (火)	・水害が起きた時の避難の仕方を知る	10:30	水害	3階遊戯室	・浸水害計画に基づき、保育士の指示に従い遊戯室へ避難
	22 (火)	・突然の事態になっても、慌てずに保育士の指示に従い、避難する	予告なし	地震 震度5	各クラス	・各クラス、落下物の恐れのない安全な場所へ避難
8	5 (火)	・不審者が侵入した際に、保育士が適切な対応をできるようにする	10:00	不審者 訓練	各クラス 保育室の死角となる場所	・園内放送合図とともに子ども達が速やかに死角となる場所へ誘導する
	19 (火)	・保育士の声かけに反応し、遊びや玩具に気を取られないで避難する 【自由遊び時間帯】	15:50 (近隣 火災)	火災 (近隣火災)	園駐車場	・近隣(東側)から発生 ・くりおね組は玄関より、他クラスは園内階段→園駐車場へ避難
9	13 (土)	・保育士の指示に従い、土曜保育時の避難の仕方を知る 【土曜保育】	午前中	地震 震度4	土曜時の保育室	・保育士の傍に集合→中階段→園駐車場へ避難
10	21 (火)	・地震から火災が起きることがあることや避難の仕方を知る ・第一指定避難場所を知る ・実際の消火及び通報の訓練 【総合避難訓練】	9:30	地震 震度6 火災 (給食室)	園駐車場	・保育士の傍に集まる ・非常階段又は玄関→園駐車場→榎岡小学校前の公園へ避難
11	18 (火)	・保育士の指示に従い延長保育時の避難の仕方を知る 【延長保育時間帯】	19:00	地震 震度5	らっこぐみ	・延長保育時、地震発生時の放送 落下物の恐れのない安全な場所へ避難
12	16 (火)	・保育士の指示に従い朝の合同保育時の避難の仕方を知る 【朝の合同保育時間帯】	7:30	地震 震度4	べんぎんぐみ	・朝の登園時、地震発生時の放送 落下物の恐れのない安全な場所へ避難
1	14 (水)	・第一発見地点で不審者を引き止められなかった場合の対応について、適切に対処できるようにする ・廊下にいる子ども達を適切に誘導する	16:00	不審者 訓練	各クラス 保育室の死角となる場所	・園内放送合図とともに子ども達を速やかに死角となる場所へ誘導する また、放送より先に異変に気付いた保育士は速やかに子ども達を保育室へ誘導する
	20 (火)	・Jアラート時の避難の仕方を知る	10:00	Jアラート 発令	園舎内	・屋内に避難、警報解除まで待機
2	17 (火)	・保育士の指示を聞き、約束を守って、慌てずに落ち着いて避難する	予告なし	火災 (近隣火災)	園駐車場	・近隣(西側)から発生 ・くりおね組は玄関→園駐車場 他クラスは非常階段→園駐車場へ避難
3	11 (水)	・1年間の避難訓練を振り返り、自然災害の危険性を知る ・避難行動を各自しっかりと身につける	14:45	地震 震度6	各保育室	・保育士の傍に集まる ◎防災備蓄品、防災用品の確認

※消火訓練は毎月実施

4 職員年間研修計画

(園内研修)

月	研修名	研修のねらい
4月	事故や緊急時の対応について	保育中における緊急時の対応について慌てずに対応できるようにする
	療育について	療育について理解し支援について学ぶ
	食について	子ども達をとりまく食の現状を踏まえ、健全な育ちを支えるため知識を学び、保育に活かせるようにする
	日誌や指導計画の書き方について	書き方を学び、スムーズに書けるようにする(次の保育に活かせるように)
5月	AED講習	AEDの使い方を知り、必要な場面でしっかりと使えるようにする
	わらべ歌	実践を通してスキンシップの楽しさや心地よさを味わい、保育に活かせるようにする
6月	幼児教育について	幼児教育の基礎を再確認し、保育に活かせるようにする
7月	子どもの姿からみえること①	写真を使用しながら子どもの育ちについて話し合い、保育の手立てや工夫に繋がるようにする
8月	特別支援保育児について	理解と支援方法について学ぶ
9月	リズム体操	リズム体操の効果と正しい動き方、援助の仕方を知り、楽しく体を動かす
	保育経過記録の書き方について	子どもの育ちについて把握しながら次の保育の手がかりとなるような記録が残せるように、書き方を確認する
10月	保護者との関わりについて	ケガやトラブルに合った時、こだわりが強い子どもの保護者への対応の仕方等具体例をあげながら話し合う
	嘔吐処理について	知識と正しい対処の仕方を身につける
11月	子どもの主体性を育む保育	主体性を育むために必要なこと、大切なこと等基本を学ぶ
12月	子どもの姿からみえること②	写真を使用しながら子どもの育ちについて話し合い、保育の手立てや工夫に繋がるようにする
1月	遊び	各年齢に応じた表現遊びを知る
2月	来年度の計画	今年度の保育を踏まえて、来年度どのように保育をしたいか考える
3月	児童の成長について	クラスごとに振り返る、児童の成長等の確認

※ケース会議については必要に応じて行う予定

iv. 中田なないろ保育園年間計画

1 年間行事予定

4月	入園・進級式 健康診断
5月	こどもの日お祝い会
6月	保育参観・懇談会(0・1・2・3・4・5歳児)
7月	水遊び始まりの会 セタ会 夏まつり 歯科健康診査
8月	水遊び終わりの会
9月	お月見会
10月	運動会 健康診断
11月	遠足 収穫祭
12月	発表会 もちつき会
1月	保育参観・懇談会(0・1・2・3・4・5歳児)
2月	まめまき会
3月	ひなまつり会 お別れ会 修了お祝い会 卒園式

※ 外部講師による「わらべ歌の会」3歳未満児クラス年間3回

「サッカー教室」3歳以上児1クラス年間2回

「はじまりは命の粘土だんご」(もりもり環境レスキュー隊事業)

※ 毎月の実施行事…避難訓練、身体測定

誕生会は、一人一人の誕生日に各クラスで行う

2 食育年間計画

(未満児)

月	0歳児	1歳児	2歳児	基本給食・行事食他
4月	安定した人間関係の中で心地よい生活をおくる	新しい環境で友だちや保育士と一緒に楽しく食べる	新しい環境で友だちや保育士と一緒に楽しく食べる	たけのこごはん
5月	ゆったりとした環境の中で、食べさせてくれる人に親しみを持つ	様々な調理形態に慣れ、楽しい雰囲気の中で食べる	食事に必要な基本的態度や習慣を知る	こいのぼりハンバーグ 「とうふさんがね・・・」 保育参観懇談会（保護者試食）
6月	食後に口の周りや手を拭き、清潔にする	食後に口周りや手を自分で拭き、清潔にする	食前の手洗い、食後のうがいや手洗いをする	かえるケーキ かたつむりロール
7月	手づかみ食に慣れる 自分で食べようとする気持ちを育てる	よく噛んで食べようとする	正しい食具の持ち方を身に付けていく	七夕ゼリー
8月	バランスよく食べて身体を十分に動かす	安定した生活リズムを保ち、暑さに負けず元気に過ごす	生活リズムが安定し、暑さに負けず元気に過ごす	「パンどろぼう」
9月	スプーンで食べることに興味を持つ コップで飲むことに慣れる	スプーンやフォークを使って自分で食べようとする	食べこぼしが少なくなり、エプロンを使わない日も出てくる	非常食（避難訓練） みたらしごはん（お月見会） 二色おはぎ
10月	食事の前後のあいさつを知り、保育士の真似をして行う	食べる姿勢に気を付け、正しい姿勢で椅子に座り、食事をする	食事が楽しみになり、なんでも食べてみようとする	「ぐりとぐらとすみれちゃん」 栗ご飯（十三夜） 仙台風芋煮汁
11月	色々な食べ物を見る、触る、口の中で味わう 食べ物に興味を持つ	給食や絵本を通して、季節の食材に親しみ、楽しく食べようとする	献立や季節の食材に興味や関心を持つ	和食の日 新米 「さつまのおいも」
12月	慣れない食べものでも食べてみる	苦手なものでも食べてみようとする	苦手なものでも食べてみる 食事を作ってくれる人に関心を持つ	おしるこごはん（もちつき会） 冬至かぼちゃ 「おにぎりぼうやのたびだち」
1月	前歯や歯、歯茎を使ってつぶしたり、よく噛んだりして飲み込むことができるようになる	よく噛んで食べる	季節の行事食に興味や関心を持つ	七草がゆ 栗きんとん（お正月） 懇談会（保護者試食）
2月	スプーンを使い、自分で食べようとする	食器やコップに手を添えたり、手に持ったりして食べる	いろいろな食べ物や料理を味わう 箸に関心を持食べようとしてみる	鬼カレー（豆まき会） 卒園リクエストメニュー
3月	食事の雰囲気を保育士や友だちと一緒に楽しむ	簡単な食事マナーに親しみ、楽しい雰囲気の中で食べる	友だちや保育士と一緒に食べる 楽しさを味わう	ひなあられ（ひなまつり会） 卒園リクエストメニュー

(以上児)

月	3歳児	4歳児	5歳児	基本給食・行事食他
4月	保育士や友だちと食事をする 楽しみを味わう	食事のマナーを知り、友だちと 楽しく食べる	食事のマナーを身につけ、友だ ちと楽しく食べる	たけのこごはん
5月	食事に必要な態度や習慣を身に 着ける	自分たちで野菜を育て、生長を 楽しみにする	自分たちで野菜を育て、生長を 楽しみにする	こいのぼりハンバーグ 「とうふさんがね・・・」 保育参観懇談会（保護者試食）
6月	箸で食事をしようとする	歯ブラシを使って口内の清潔を 意識する	歯磨きを進んで行い、口の清潔 を意識する	かえるケーキ かたつむりロール
7月	野菜の栽培に興味を持つ	野菜の世話をし、生長を楽しみ にする	野菜の世話をし、生長を楽しみ にしながら、旬があることを知 る	七夕ゼリー
8月	収穫したものを喜んで食べる	収穫したものを喜んで食べる	収穫したものを喜んで食べる	「パンどろぼう」
9月	災害時の食事を知る	災害時の食事に関心を持つ	災害時の食事に関心を持つ	非常食（避難訓練） みたらし団子（お月見会） 二色おはぎ（敬老の日）
10月	箸の使用に慣れてくる 基本的な食事の仕方を身につけ る	箸の持ち方に慣れ、正しく持っ て食べようとする 食べ物と身 体の関係に関心を持つ	箸を正しく持って食べる 衛生と健康の関係に関心を持つ	「ぐりとぐらとすみれちゃん」 栗ご飯（十三夜） 仙台風芋煮汁
11月	献立や季節の食材に興味や関心 を持つ	季節の魚や野菜、果物に興味を 持ち、友だちと食事を楽しむ	季節の魚や野菜、果物に興味を 持ち、友だちと食事を楽しむ	和食の日（11/24） 新米 魚の解体 「さつまのおいも」
12月	配膳図を見て並べる	配膳図を見て並べ、主食と主 菜、副菜を交互に食べる	意識して配膳し、主食と主菜、 副菜を交互に食べる	おしるこ（もちつき会） 冬至かぼちゃ 「おにぎりぼうやのたびだち」
1月	季節の行事や伝統的な食事を 体験する	季節の行事や伝統的な食事を 体験し、関心を持つ	季節の行事や伝統的な食事を 体験し、興味関心を持つ	七草がゆ 栗きんとん 懇談会（保護者試食）
2月	箸の持ち方や使い方に興味を 持って使用する	基本的なマナーを身につける	食事のマナーを身につけ、小学 校の給食に興味を持つ	鬼力レー（豆まき会） 卒園リクエストメニュー
3月	食事を用意してくれる人への 感謝の気持ちを持つ	食事のマナーや身体の成長に 気づき、進級の喜びを感じる	保育園の給食を振り返る	ひなあられ（ひなまつり会） 卒園リクエストメニュー

3 避難・防災年間計画

月	日(曜日)	訓練方法 (想定)	訓練のねらい	留意点	備考
4月	17日(木) 10時00分	・非常ベルを聞く	・非常ベルの音を知る	・非常ベルを鳴らす前に音が鳴ることを知らせる	・人数報告
5月	16日(金) 10時00分	・近隣火災	・火災の避難の仕方を知る	・非常ベルを鳴らす前に「避難訓練」であることを伝える ベルが鳴ったらどう動くかを伝える	・クラス帽子を被る 園庭避難 ・人数報告
	20日(火) 9時50分	・Jアラート発令	・Jアラート発令時の避難の仕方を知る	・園の安全な場所に集まる	・人数報告
6月	11日(水) 9時45分	・地震 (震度4)	〈移動訓練〉 ・中田小学校へ避難の仕方を知る ※宮城県沖地震	保育士のそばに集合 1F：テラス→外→園庭 2F：非常階段→外→園庭	クラス帽子を被る ・人数報告
7月	17日(木) 9時50分	・浸水避難訓練	・浸水避難訓練の避難の仕方を知る ・垂直避難	・全員2階の遊戯室に避難 ・3歳未満児の階段ピストン避難	・保護者に配信等で迎えの要請
	24日(木) 14時00分	・不審者対応避難訓練	・マニュアルの確認	・不審者マニュアルの読み合わせ	・職員机上訓練
8月	5日(火) 7時20分	・地震	・合同保育時間の避難の仕方を知る (早朝保育時間)	・どのクラスに誰がいるのか意識する ・名前を呼びかけながら誘導する	保育士のそばに集合 (室内の安全な場所) 各保育室→保育室出入口
9月	12日(金) 16時30分	・竜巻	・竜巻の避難の仕方を知る	・窓のないところに誘導する	保育士のそばに集合 建物の内側に集合
10月	15日(水) 19時20分	・近隣火災	・合同保育時間の避難の仕方を知る (夜間避難訓練)	・どのクラスに誰がいるのか意識する ・名前を呼びかけながら誘導する	保育士のそばに集合 保育室出入口
	23日(木) 10時15分	・不審者対応避難訓練	不審者侵入 アルソック職員立合	・不審者を刺激しないように避難誘導する	保育士のそばに集合 各クラス→遊戯室
11月	6日(木) 10時00分	・地震 ・火災	・地震の後に火災が発生した時の避難の仕方を知る	〈総合避難訓練〉に参加する ・通報訓練 ・避難訓練 ・職員消火訓練 ・視聴覚教材視聴 ・消防自動車見学	保育士のそばに集合 1F：テラス→外→園庭 2F：非常階段→外→園庭
12月	13日(土)	・地震	・合同保育時間の避難の仕方を知る	・どのクラスに誰がいるのか意識する ・名前を呼びかけながら誘導する	保育士の指示の元、 2階へ避難する 垂直避難
1月	9日(金) 9時15分	・火災	近くの保育士のもとに集まって指示を聞き、落ち着いて避難する	・どのクラスに誰がいるのか意識する ・名前を呼びかけながら誘導する	保育士のそばに集合 安全な場所へ
2月	10日(火) 11時00分	・火災	どこで遊んでいても保育士のそばに集まり避難する	・どのクラスに誰がいるのか意識する ・名前を呼びかけながら誘導する	保育士のそばに集合 安全な場所へ
3月	13日(金) 10時30分	・地震 ・火災	どこで遊んでいても保育士のそばに集まり避難する ※東日本大震災	・どのクラスに誰がいるのか意識する ・名前を呼びかけながら誘導する	保育士のそばに集合 安全な場所へ

4 職員年間研修計画

(園内研修)

月	研修名	研修内容
4月	新年度の確認事項	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営要綱、保育目標の確認、個人情報の取り扱い、秘密保持、究明講習、人権擁護、虐待など
5月	記録の仕方①	<ul style="list-style-type: none"> 日誌・連絡帳・今月の保育・今週の保育
6月	マニュアル確認 遊び、活動計画①	<ul style="list-style-type: none"> 衛生マニュアル、安全マニュアル 各発達年齢に考慮した表現遊び
7月	記録の仕方② 特別支援保育児について	<ul style="list-style-type: none"> 養護と教育が一体になった保育 理解と支援について
10月	前期の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 各クラスの取り組みを振り返る
11月	遊び、活動計画② 救命講習	<ul style="list-style-type: none"> 各発達年齢に考慮した表現遊び 「心肺蘇生」「AED」の使用方法
12月	食育について	<ul style="list-style-type: none"> 食育目標からの食育活動の内容、食育の振り返り
1月	事故・ヒヤリハット	<ul style="list-style-type: none"> 事故・ヒヤリハットの集計と事例検討
2月	後期の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 後期を振り返り、各クラスでの取り組みの反省 1年のまとめ
3月	次年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> 行事や活動の計画